

# 狭小間口の家



## ミニマムライフ

### 都市型ミニマム暮らし

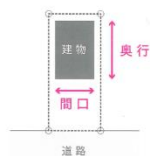
与えられた環境に適応して住もう。  
決して窮屈ではなく、  
コンパクトに、効率良く。  
そして家族みんなで楽しく暮らす。  
「狭小間口の家」です。



## 狭小間口での暮らし

『狭小間口の家』は、  
計画敷地の接道長さが短く区切られた、  
間口の狭い都市型スタイルの住宅です。  
奥行きがあり、延べ面積の小さな住まいですが、  
少しの工夫で、  
家族の団樂が生まれ、楽しく住まうことができます。  
もちろんその家は、機能的で効率のよい住まいです。

本書では、  
間口が4,550mmと5,005mmの間取りを収録しています。  
間口が狭くても、家族が  
快適な生活がおくれ、笑顔で暮らせる  
「狭小間口の家」をご覧ください。

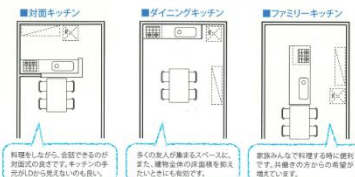


### 暮らしのPoint

限られた間口の家に住まう工夫。

#### 1 LDKを広く見せる! LDKを一体として計画する!

間仕切りを少なくLDKを一体として計画することで、視線が通り広がりを感じさせる空間となります。また、キッチンで料理をしながら、ダイニングやリビングにいる子どもの様子うかがえて安心です。コンパクトなLDKは、いつも家族と一緒の生活が送れます。



#### 3 リビングを日当たり良く! リビングを2階に設ける!

落ち着いた日当たりの良いリビングを希望の場合は、2階にリビングを設けることもオススメです。プライバシーを確保した寛ぎの空間となります。そこに、リビングに面した大きめのバルコニーがあると内と外が一体となった開放感あふれる生活が可能となります。物干しなどの実用的なスペースとして、ガーデニングなどの趣味のスペースとして、様々な使い方ができます。

※本間取り集には2階リビングのプランが、合計9プラン(南入り:3プラン、東西入り:3プラン、北入り:3プラン)が収録されています。

#### 2 子ども室をコンパクトに! 最低限の必要な広さを確保する!

間口の狭い家では、無駄をなくし、効率良く部屋を配置していくことが求められます。そこでよく話題になるのが、子ども室の広さです。図のように、子ども室は、4.5帖程度あればベッドと机、本棚がおけるスペースが確保できます。

